

学部名	生活環境学部
学科名	情報衣環境学科
コース名	衣環境学コース

生活環境学部のディプロマポリシー	生活環境学部のカリキュラムポリシー	生活環境学部のアドミッションポリシー
<p>【学部の教育理念】 奈良女子大学生活環境学部は、生活に根ざした理論と実践の総合的学知を提供し、主体的でリーダーシップを発揮できる人材を育成することを目的としています。教育内容は、生活の根幹である衣食住を基盤として、心身の健康・情報・文化などの多様な分野にまで及びます。学際的な教育を通じて、生活に関する専門的知見と生活の質の向上に向けた新しい発見と創造を生み出す力を持ち、個人、家庭そして社会の生活を主体的に創造できる能力を持った人材を育成します。</p>	<p>【生活環境学部のカリキュラム構造】 生活環境学部のカリキュラムは教養教育科目と専門教育科目から構成されています。教養教育科目ではグローバルな視野を培う外国語科目、健康な生活の基礎づくりとなる保健体育科目が必修となっているほか、幅広い教養と創造性を身につけるための教養科目を提供しています。専門教育科目では初年次科目として生活環境学の全体像や各学科・コースで学ぶ内容を概論的に理解するための学部共通科目と学科共通科目、専門的知見を修得するための科目として学科専門科目とコース専門科目を開講しています。各学科・コースとも生活環境学部における学修の総括として、卒業研究を通じて、自身の専門分野に関する研究を深め、成果発表することを卒業のための必修要件としています。また、大学院に進学して更に研究を深めたいという意欲のある学生に対しては大学院開講科目の先取り履修を認める6年一貫教育プログラムも提供しています。</p>	<p>【生活環境学部の教育理念】 生活環境学部は、生活に根ざした理論と実践の総合的学知を提供し、主体的でリーダーシップを発揮できる人材の育成をはかることを目指しています。教育内容は、身体や性にはじまって、衣食住に関わるあらゆる問題に及び、さらには地域や世界の環境問題までも射程に収めています。このような幅広い教育を提供するために、生活環境学部は文理融合型学部として、食物養学科・住環境学科・情報衣環境学科・心身健康学科・生活文化学科の5学科から構成されています。学科の性格が多様であることに伴い、教育方法もまた理論・比較・調査・実験と多岐にわたります。しかし、生活環境学の総合的教育という学部理念に即して、つねに生活者の視点を失わないことを重視しています。生活者の視点とは、利用者・消費者といった立場からの批判と改善の視点であり、わたしたちの生活の質の向上に向けた新しい発見と創造を生み出す視点です。生活環境学部は、各学科の教育目的に応じて専門性を高めるだけでなく、学科を超えた学際的な教育を通じ、領域横断的でグローバルな視野をもって問題解決をはかる人材を養成したいと考えています。</p>
<p>【身につけるべき「資質・能力」】 ・生活環境に関わる専門的知見と幅広い教養を持ち、生活を主体的に創造する能力。 ・生活の諸問題について生活者の視点より分析理解し、その解決に積極的に挑戦する能力。 ・自律的な行動と判断を行い、他者と柔軟なコミュニケーションを築き、個人、家庭そして社会の生活をリードできる能力。</p>	<p>【教育の内容と方法】 生活環境学部の教育内容は生活の根幹である衣食住を基盤として、心身の健康・情報・文化などの多様な分野にまで及びます。幅広い教育内容を反映して、教育方法もまた理論・比較・調査・実験と多岐にわたります。多岐で多様な教育を通じ、専門性を高めるだけでなく、領域横断的でグローバルな視野をもって主体的に生活の問題解決をはかる人材を養成したいと考えています。</p>	<p>【生活環境学部が求める学生像】 上記の教育理念にもとづき、生活環境学部は次のような資質及び意欲をもつ学生を求めます。 (1) 幅広い関心と各学科が必要とする基礎的学力をもつ。 (2) 生活者の視点をもつリーダーあるいは主体的・能動的な生活者になることを目指している。 (3) 日常生活に対する感受性と洞察力にすぐれ、豊かな想像力をもって他者との共生・協働をはかり、社会的弱者や文化的背景を異にする他者への共感をもつ。 (4) 社会のリーダーあるいは主体的生活者となるために、課題発見能力・問題解決能力・論理的思考力の開発に積極的に取り組む意欲をもつ。 (5) 各学科の教育理念に即したカリキュラムを真摯な姿勢で学び、学んだ成果を、専門職・企業人・公務員・教員等として積極的に地域や社会に還元したいという意欲をもつ。</p>
情報衣環境学科のディプロマポリシー	情報衣環境学科のカリキュラムポリシー	情報衣環境学科のアドミッションポリシー
<p>【学位授与の前提となる教育理念】 情報衣環境学科では、衣の観点から快適・健康・安全で質の高い生活環境を創り出すために必要な新しい技術開発や諸問題の研究に取り組める先導的人材と、現代の情報社会の環境を構成しつつあるライフ・コンピュータの観点から生活環境を改善する技術を開発し社会に発信できる人材、及び双方の融合した先端学際領域で活躍できる人材を育成することを目的としています。本専攻では、衣環境学コースと生活情報通信科学コースが有機的に連携して、明確な問題意識に基づいて課題を設定し、その課題に主体的・積極的に取り組む意欲が求められます。</p>	<p>【基本的なカリキュラム構造】 履修内容は、衣と情報の学際的融合領域について学ぶ共通教育科目群と、コース別の専門科目群に分かれています。専門科目群については、衣とそれを取り巻く多様な周辺諸学を学ぶための基礎知識を習得する衣環境学コースと、時代の要請する先端情報通信技術の習得を目指す生活情報通信科学コースに分かれて履修します。大学院に進学して更に研究を深めたいという意欲のある学生に対しては大学院開講科目の先取り履修を認める6年一貫教育プログラムも提供しています。</p>	<p>【教育の理念】 情報衣環境学科は、生活のレベル向上や社会的弱者を支援することのできる技術と発想力をもつ人材の育成を目指します。今日、科学技術の進歩により生活の利便性が飛躍的に向上する一方、少子高齢化や地球環境破壊が大きな社会問題となっています。より快適・健康・安全な生活環境を創り出すには、生活の実態を捉えてその問題点を明らかにし、改善のための方策を行う力を身につけた人材が必要です。そのために、生活にとって必須の技術であり今後も大きな発展の可能性をもつ情報技術と、人体と共に移動するモバイル型の典型である衣服技術を融合させた教育を行います。</p>
<p>【身につけるべき「資質・能力」】 ・各コースで指定する高度な基礎学力 ・問題発見と解決能力 ・解決した課題を社会に還元する能力 ・社会で貢献するためのコミュニケーション能力</p>	<p>【教育の内容と方法】 情報衣環境学科では、衣の観点から快適・健康・安全で質の高い生活環境を創り出すために必要な新しい技術開発や諸問題の研究に取り組める先導的人材と、現代の情報通信社会を構成しつつあるライフ・コンピュータの観点から生活環境を改善する技術を開発し社会に発信できる人材、さらに双方の融合した先端学際領域で活躍できる人材の育成を目的としています。従って、衣環境学コースと生活情報通信科学コースの2つのコースを設けるとともに、共通科目を設定し互いに連携しあうカリキュラムに基づいて、より良い生活環境を創り出す情報衣環境学の展開を目指します。</p>	<p>【求める学生像】 情報衣環境学科では、生活の視点から人類に役立つ技術に興味をもつ学生を求めます。衣服と情報のように一見異分野と思われるものを融合して学ぶことで、人類の生活を豊かにしようという意欲をもつ学生の入学を望みます。</p>

衣環境学コースのディプロマポリシー		衣環境学コースのカリキュラムポリシー		衣環境学コースの学習成果			
<p>【学位授与の前提となる教育理念】 衣環境学コースでは、衣の観点から快適・健康・安全で質の高い生活環境を創り出すために必要な新しい技術開発や諸問題の研究に取り組める先導的人材、及び衣と情報処理の融合した先端学際領域で活躍できる人材を育成することを目的としています。明確な問題意識に基づいて生活環境の課題を設定し、広い視野でその課題解決に主体的・積極的に取り組む意欲と、衣環境に関する技術を身に付け、問題解決を先導する人材を育成します。</p>		<p>【基本的なカリキュラム構造】 情報衣環境学に関する共通教育科目群と、衣とそれを巻き巻く多様な周辺諸学を学ぶための専門科目群を履修します。専門科目群は、素材・デザイン・感性・管理に関する伝統的な被服諸学に加えて、被服の製作実習や物理・化学実験など充実した演習、衣や生活に関連した応用情報処理を含む幅広い内容の科目で構成されています。</p>		<p>(◎=学習成果を上げるために履修することが特に強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)</p>			
<p>【身につけるべき「資質・能力」】 ・最先端の衣環境技術に関する幅広い知識 ・衣環境や衣生活に関する問題解決のための研究を遂行する能力 ・主体的に課題を捉え、計画的に実行し、課題解決を先導できる能力 ・専門知識により社会で貢献するためのコミュニケーション能力</p>		<p>【教育の内容と方法】 衣環境学コースでは、快適な衣生活を実現するためのアパレルの備えるべき特性について、アパレル素材の高機能化と高性能化、被服の企画・設計や生産性、着用によって低下した機能の回復に至る多面的な領域から、総合的に教育・研究します。衣や生活に関連した人間の五感やインタフェース、データ解析といった応用情報処理科目が充実している事も特色です。公的資格である繊維製品品質管理士(Textiles Evaluation Specialist=TES)の取得にも対応した実践的な学習内容となっており、科学的探究心、論理的思考力、計画的実行力、問題解決能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力ある人材を養成します。</p>		<p>教養</p> <p>最先端の衣環境技術に関する幅広い知識</p>	<p>専門性</p> <p>衣環境や衣生活に関する問題解決のための研究を遂行する能力</p>	<p>創造性</p> <p>主体的に課題を捉え、計画的に実行し、課題解決を先導できる能力</p>	<p>専門知識により社会で貢献するためのコミュニケーション能力</p>
カリキュラム							
科目番号	授業科目名	学習目標	対象学生	開講期			
	教養科目群：大学生生活入門・パサージュ	・高校までの学習とは異なる、大学ならではの学びとはどのようなものか理解する。 ・奈良女子大学の教員が行っている研究の最先端に触れ、学問の世界を体験する。	1回生以上		○		
	教養科目群：人間と文化	人間と文化に関する幅広い知識を体系的に理解する。 柔軟かつ論理的に思考する力を身に付ける。 自ら課題を発見する力を身に付ける。	1回生以上		○		
	教養科目群：生活と社会	生活と社会に関する幅広い知識を体系的に理解する。 柔軟かつ論理的に思考する力を身に付ける。 自ら課題を発見する力を身に付ける。	1回生以上		○		
	教養科目群：人間と自然	人間と自然に関する幅広い知識を体系的に理解する。 柔軟かつ論理的に思考する力を身に付ける。 自ら課題を発見する力を身に付ける。	1回生以上		○		
	教養科目群：グローバル教育科目	異なる文化や価値観に触れ、国際性の涵養と外国人とのコミュニケーションをとる力を身に付ける。	1回生以上		○		
	現代社会と職業	キャリア教育全体の基礎となる科目。働きつつ生きることの意味や、その舞台としての現代社会の仕組みを理解する。	1回生以上		○		
	外国語科目	ボーダーレス化、多極化する世界の中で、様々な情報源から現在を読み取り、そこでの自分の位置と進路を見定める力を身に付ける。 言語を通じて異文化への理解を深め、コミュニケーション能力を向上させる。	1回生以上		○		

	健康運動実習	・運動・スポーツの実践が健康の維持・増進に与える効用について理解する。 ・体力測定や各種調査の自己分析を通じて自らの身体への理解を深める。 ・仲間とのコミュニケーションをはかり、主体的に運動・スポーツにかかわる態度を身につける。	1回生以上						
	情報処理入門	・情報倫理と情報セキュリティの考え方を身につける ・様々な情報システムを安全かつ有効に使う方法を理解する	1回生以上						
3100001A1	生活環境学原論	・生活環境学とは何か、学問体系とその内容について理解する ・生活を取巻く自然・社会環境問題を把握する ・生きる哲学と生活科学について考える	1回生以上	後期					
3100002A2	育児学	①子どもの心身の成長、発達を知る。 ②子どもの病気や事故について学び、予防について考える。 ③子どもをとりまく生活環境について学び、より望ましい家庭のあり方について考える。 ④子育てをめぐる諸問題や児童福祉に関する行政施策や支援を学び、乳幼児期の保育のあり方について自らの考えを述べるができる。	2回生以上	前期					
3100004A1	家庭機械・家庭電気・情報処理	◎生活機器の作動原理、構造等を理解し、安全に利用できる(知識・理解、汎用的技能)。 ◎電気機器に必要な電気の基礎、構造、作用等を理解し、安全に利用できる(知識・理解、汎用的技能)。 ◎コンピュータの基本原理解、機能を理解し、安全に利用できる(知識・理解、汎用的技能)。 以上の学習を通して、機器に使われるのではなく、機器を活用する能力・態度を身につける(知識・理解、汎用的技能、態度・志向性)。	1回生以上	後期					
3100006A1	食物科学概論	食物科学の基礎について、栄養学、食品学、調理学、微生物学、安全学等の観点から総合的に学ぶ(知識・理解)。	1回生以上	前期					
3100007D1	調理学実習(D)	実習を通して、以下の2つの目標達成を目指す。 ・食品とその調理性および栄養価に関する基礎的知識を習得できている(知識・理解)。 ・調理理論の実際と基本的技術、美味形成要因とその評価手法を習得できている(汎用的技能)。	1回生以上(食物栄養学科)	前期					
3100009D1	調理学実習(E)	基本的な調理操作と食品素材の調理特性について理解し(知識・理解)、中学・高等学校家庭科教員としての基本的スキルを獲得する(汎用的技能)。	1回生以上(食物栄養学科以外)	前期					
3100008D1	応用調理学実習(D)	献立作成およびその実習の具体的な実践を重ねることで以下の目標達成を目指す。 ・食事設計に関して必要な知識・技術の向上と応用力・発展力を身につけている(知識・理解、汎用的技能)。	1回生以上(食物栄養学科)	後期					
3100010D1	応用調理学実習(E)	様々な場面における献立の組み方と調理操作の流れを理解する(汎用的技能)。また、食卓の整え方を学び、食文化について造詣を深める(知識・理解)。さらに生涯発達と食教育の観点から食生活を設計する姿勢を身につける(態度・志向性)。	1回生以上(食物栄養学科以外)	後期					

3100011A1	衣環境学概論	被服の素材、機能、染色、洗濯といった被服学の基本的内容から、新規繊維素材、機能性材料の開発に至るまで、被服学に関する最新の知識を習得する。また、中等家庭科被服学領域を担当する上で必要な衣生活に関する系統的な知識と応用能力を修得し、自ら健康で快適な衣生活を営むことができることを目指す。	1回生以上	後期	○				
3100012D1	被服学実習 I (A)	①被服材料学・管理学・衛生学・意匠学・染色学についての実験・実習を行い、基礎知識を理解する。 ②実験結果から得られたデータをまとめ、実験内容に関わる知識や情報について調べる。 ③衣服について理解を深め、快適な衣生活を送るために必要な能力を身につける。	1回生以上 (食物栄養学科)	前期	○				
3100014D1	被服学実習 I (B)	①人が装う意味と衣服の機能、その衣服の企画・設計・製作から流通に至るまでの仕組みを理解する。 ②人体形態と衣服の関係、その衣服の立体構成におけるデザイン・設計方法を理解する。 ③教材としての下衣（スカート）の製作から、衣服構成における縫製技法を学ぶ。 ④素材の特性とシルエット形成能の関係を知り、デザインに適した素材選定、取り扱い方法を理解する。 ⑤着装の効果を理解し、心豊かな衣生活創造に向けた知識と能力を習得する。	1回生以上 (生活健康・住環境)	前期	○				
3100016D1	被服学実習 I (C)	①被服材料学・管理学・衛生学・意匠学・染色学についての実験・実習を行い、基礎知識を理解する。 ②実験結果から得られたデータをまとめ、実験内容に関わる知識や情報について調べる。 ③衣服について理解を深め、快適な衣生活を送るために必要な能力を身につける。	1回生以上 (生活文化学科)	前期	○				
3100018D1	被服学実習 I (D)	①人体の形態と被服の関わりを理解する。 ②被服造形のための素材とデザインの基礎的知識を習得する。 ③立体構成の下衣（スカート）製作の基礎的理論を理解し、基礎的技法を習得する。 ④原型の製図とデザイン展開の理論と技法を習得する。	1回生以上 (衣環境学専攻)	前期	○				
3100013D1	被服学実習 II (A)	①人が装う意味と衣服の機能、その衣服の企画・設計・製作から流通に至るまでの仕組みを理解する。 ②人体形態と衣服の関係、その衣服の立体構成におけるデザイン・設計方法を理解する。 ③教材としての下衣（スカート）の製作から、衣服構成における縫製技法を学ぶ。 ④素材の特性とシルエット形成能の関係を知り、デザインに適した素材選定、取り扱い方法を理解する。 ⑤着装の効果を理解し、心豊かな衣生活創造に向けた知識と能力を習得する。	1回生以上 (食物栄養学科)	後期	○				
3100015D1	被服学実習 II (B)	①被服材料学・管理学・衛生学・意匠学・染色学についての実験・実習を行い、基礎知識を理解する。 ②実験結果から得られたデータをまとめ、実験内容に関わる知識や情報について調べる。 ③衣服について理解を深め、快適な衣生活を送るために必要な能力を身につける。	1回生以上 (生活健康・住環境)	後期	○				

3100017D1	被服学実習 II (C)	①人が装う意味と衣服の機能、その衣服の企画・設計・製作から流通に至るまでの仕組みを理解する。 ②人体形態と衣服の関係、その衣服の立体構成におけるデザイン・設計方法を理解する。 ③教材としての下衣（スカート）の製作から、衣服構成における縫製技法を学ぶ。 ④素材の特性とシルエット形成能の関係を知り、デザインに適した素材選定、取り扱い方法を理解する。 ⑤着装の効果を理解し、心豊かな衣生活創造に向けた知識と能力を習得する。	1回生以上 (生活文化 学科)	後期	○				
3100019D1	被服学実習 II (D)	①上半身の形態と衣服との関わりを理解する。 ②立体構成の上衣の基礎的知識と製作技法を習得する。 ③上衣の原型とデザインに合わせた展開の技法を習得する。	1回生以上 (衣環境学 専攻)	後期	○				
3100020A1	ジェンダー文化論	①ジェンダーのことが意味するものを知る。 ②ジェンダーの視点から社会的な事象を見ることができるようになる。 ③ジェンダー以外にも、年齢、学歴、民族、宗教など、人を分類する基準は複数あることを知る。 ④リプロダクションには国家の利害や権力関係が明瞭に表れることを知る ⑤ジェンダーやセクシュアリティは、文化によって多様であることを知る。	1回生以上 (生活文化 学科以外)	前期	○				
3100021A2	家族関係論	1. 家族関係の様々な側面・現象を、データや理論枠組みを通じて具体的に考える力をつける。 2. 家族関係に関する諸理論の基本的知識を身につけ、それぞれの長所と限界を考える。 3. 学問が明らかにする家族の性質、特徴、傾向などを知ること、自分自身の家族経験を相対化し、家族に関する科学的探究への意欲を高める。 4. 家族に関する問題の解決の道筋や、家族支援や政策のあり方を考えていくための基本的視点を身につける。	2回生以上 (生活文化 学科以外)	前期		○			
3100022A2	生活経営学	生活経営の実態について理解し、さらに生活を営んでいくうえで直面する様々な課題に対して主体的に意思決定を行うことのできる能力を養うことを目標とする。	2回生以上 (生活文化 学科以外)	前期集中		○			
3100023A1	住環境学概論	①住環境学に関する基礎的知識を学習する（知識・理解）。 ②住まい方や住まいの歴史について知識を深める（知識・理解）。 ③住まいおよび居住地の環境や防災、管理について知識を深める（知識・理解）。 ④住まいの計画手法を学習し、住居設計の基礎的技術を習得する（汎用的技能）。 (対応表) B-1: ◎、C-1: ○	1回生以上	前期	○				
3100024A1	心身健康学概論 I	身体健康に関わる諸要因について理解する。生活における健康とは何かを理解し、国の施策、健康増進法や医事法規、生活習慣病や介護予防などについて幅広く健康に関連する事項について関心を喚起し、学ぶ意欲を高める。	1回生以上	前期	○				

3100025A1	心身健康学 概論Ⅱ	心理学の成り立ちについて理解する。こころの健康に関わる諸要因について理解していくために必要となる心理学全般についての基礎的な知識。特に人のこころの基本的な仕組み及び働きを学ぶ。こころについて科学的に捉え、アプローチできるような基本的な態度を身につけることで、こころの健康の専門家としての基本的事項を身につけることをねらいとする。	1回生以上	前期	○			
3100026A1	心身健康学 概論Ⅱ(心理学概論)	心理学の成り立ちについて理解する。こころの健康に関わる諸要因について理解していくために必要となる心理学全般についての基礎的な知識。特に人のこころの基本的な仕組み及び働きを学ぶ。こころについて科学的に捉え、アプローチできるような基本的な態度を身につけることで、こころの健康の専門家としての基本的事項を身につけることをねらいとする。	1回生以上	前期	○			
3230001A1	情報衣環境 学概論	以下の内容を学ぶことで、被服科学と情報科学が融合した新しい分野に挑戦するための、広い視野と高い専門性を身につける。 ・ライフコンピューティングに関する基本的な知識を習得する。 ・ハードウェアの基礎を理解する。 ・プロジェクトマネジメントの概要を理解する。 ・ウェアラブルインタフェースの基礎を理解する。 ・衣環境に関するバーチャルリアリティの基礎を理解する。	1回生以上	前期	○			
3230002A1	応用数学Ⅰ (微分積分学)	1. 極限の考え方を理解する(知識・理解)。 2. 連続関数の考え方を理解する(知識・理解)。 3. 微分の考え方を理解する(知識・理解)。 4. 積分の考え方を理解する(知識・理解)。	1回生以上	前期	○			
3230003A1	応用数学Ⅱ (線型代数学)	1. 線形写像としての行列の意味を理解する(知識・理解)。 2. ベクトルと行列の演算を理解する(知識・理解)。 3. 行列式を理解する(知識・理解)。	1回生以上	前期	○			
3230004A2	形態情報論	1. 形状などの表現について理解する(知識・理解)。 2. 運動などの表現について理解する(知識・理解)。 3. 形状などが存在する空間などの特徴付けについて理解する(知識・理解)。	2回生以上	前期		○		
3230006A2	マーケティング論	1) マーケティングの基本発想を理解する。 2) アパレルビジネスにおけるマーケティングの役割を理解する。 3) アパレルマーケティングにおけるビジネスモデルの新展開を学ぶ。	2回生以上	後期集中		○		
3230007A3	ウェアラブル インター フェイスデ ザイン論	1: ウェアラブルな情報処理の研究例について学ぶ。 2: ヒューマンインタフェースの基礎と研究例について学ぶ。 3: インタフェースデザインについて理解を深める。 4: 受講者自身も実例調査を行ってレポートを作成し発表、討論に参加するなど、インタラクティブ教育に取り組む。	3回生以上	前期		○		
3230008A3	創造学	・「アイデア創出の技術」を使いこなし、自身や社会の課題に新しい選択肢を作り出すことができるようになる。 ・優れたアイデアを生み出すための4つのフェーズを理解する。 ・創造性を促進する内的/外的要因を理解し、自身や集団の創造力を引き出すことができる。	3回生以上	後期集中				○

3230009A1	生活と情報倫理	情報社会特有の犯罪事例を通じて、情報社会で生活する上で被害者や加害者にならないための方法を学ぶ。 情報社会の発展にともなう光と影について考え、情報社会で生きるための情報倫理を学ぶ。	1回生以上	前期	○			
3230010A1	情報学概論	本講義を通して、コンピュータのハードウェアならびにオペレーティングシステムの概要、デジタルコンテンツに関する理解、インターネットの基本、Webの社会的意義、インターネットアプリケーションとしてのポータルサイト、ソーシャルネットワーキングサービス、Business to Consumerの仕組みを理解することを目標とする。	1回生以上	後期	○			
3230011A1	情報セキュリティと法務	情報セキュリティの技術とリスク対策について理解している サイバー犯罪に関する知識とその対策とその犯罪に関する法律知識を理解している コンピュータおよびネットワークのセキュリティを高めるための方法について理解している	1回生以上	後期	○			
3230012A1	生活と統計学	・統計、確率の基本概念を理解すること。 ・統計結果を正確に読み取れるようになること。 ・データを使って自分で統計解析できるようにすること。	1回生以上	後期	○			
3230013A2	情報と職業	情報システムが社会のインフラを支えており、それが私たちにどのような恩恵をもたらし、リスクを負っているかを説明できる。 情報化がビジネスや社会をどう変えてきたかを説明できる。 企業のなかで情報や情報システムがどのように活用されているのか、POSやCRMなど代表的情報システムの目的と経営的な効果について説明できる。 情報社会のなかで、どのように生きべきかのヒントを得る。	2回生以上	前期		○		
3230014A3	経営工学	経営工学で用いられる主な手法と用語を理解する。詐欺的な商売にひっかからないだけの経済や金融に関するリテラシーを身に着ける。	3回生以上	前期		○		
3230015A3	失敗学	失敗から学ぶことの意義を理解し、失敗学の基礎を身につける。事故事例・失敗事例を通して、技術失敗の重みを考察し、社会へ及ぼす重大な影響について分析する。致命的な失敗を想定し、それを未然に防止する手法を習得する。事故や失敗を考慮したうえで計画を立てることができるようになる。	3回生以上	後期				○
3231001A1	衣環境学概論	被服の素材、機能、染色、洗濯といった被服学の基本的内容から、新規繊維素材、機能性材料の開発に至るまで、被服学に関する最新の知識を習得する。また、中等家庭科被服学領域を担当する上で必要な衣生活に関する体系的な知識と応用能力を修得し、自ら健康で快適な衣生活を営むことができることを目指す。	1回生以上	後期	○			
3231002D1	被服学実習 I (D)	①人体の形態と被服の関わりを理解する。 ②被服造形のための素材とデザインの基礎的知識を習得する。 ③立体構成の下衣(スカート)製作の基礎的理論を理解し、基礎的技法を習得する。 ④原型の製図とデザイン展開の理論と技法を習得する。	1回生以上	前期	○			

3231003D1	被服学実習 I (B)	①人が装う意味と衣服の機能、その衣服の企画・設計・製作から流通に至るまでの仕組みを理解する。 ②人体形態と衣服の関係、その衣服の立体構成におけるデザイン・設計方法を理解する。 ③教材としての下衣(スカート)の製作から、衣服構成における縫製技法を学ぶ。 ④素材の特性とシルエット形成能の関係を知り、デザインに適した素材選定、取り扱い方法を理解する。 ⑤着装の効果を理解し、心豊かな衣生活創造に向けた知識と能力を習得する。	1回生以上	前期	○				
3231004D1	被服学実習 II (D)	①上半身の形態と衣服との関わりを理解する。 ②立体構成の上衣の基礎的知識と製作技法を習得する。 ③上衣の原型とデザインに合わせた展開の技法を習得する。	1回生以上	後期	○				
3231005D1	被服学実習 II (B)	①被服材料学・管理学・衛生学・意匠学・染色学についての実験・実習を行い、基礎知識を理解する。 ②実験結果から得られたデータをまとめ、実験内容に関わる知識や情報について調べる。 ③衣服について理解を深め、快適な衣生活を送るために必要な能力を身につける。	1回生以上	後期	○				
3231006A2	家族関係学	・家族を対象として展開してきた、家族社会学の基本的概念と研究関心の射程を理解する。 ・統計資料や研究事例から、現代家族の動向を読み解くちからを身につける。 ・「当たりまえの家族」「ふつうの家族」といったイメージや常識を再考できるようにする。 ・受講者が問題解決志向をもって、家庭科教育に取り組む姿勢をもつことを目指す。	2回生以上	前期集中		○			
3231007A3	被服衛生学	1. 各種の温度環境における生体と環境の熱交換と生体の応答を理解する。 2. 衣服が体温調節に及ぼす影響について理解する。 3. 呼吸・循環系の力学的な特性を理解し、衣服が呼吸・循環系調節に及ぼす影響について理解する。 4. 骨格筋運動の特性を理解し、衣服着用との関連を考慮できるようになる。	3回生以上	前期		○			
3231008A2	生活経済経営学	授業計画に示す各回のテーマに対し、①内容を理解し自分の言葉で説明できる、②関連する事象に興味や関心を高める、③課題を明確に提起でき、対応策などの提案ができる、④日常の生活経営における実践的な態度を醸成すること、を到達目標とする。	2回生以上	前期		○			
3231010A2	衣環境管理学	1. 健康で快適な衣生活を営むために必要な衣服の管理について理解する。(知識・理解) 2. 資源・環境に配慮したライフスタイルを工夫できる能力を身につける。(汎用的技能)	2回生以上	前期		○			
3231011A2	生活と感覚計測論	①人間中心設計・デザインの考え方を理解する ②人間の感覚器の仕組みと特性を理解する ③五感への呈示・センシング技術を理解する ④人間工学やヒューマンインタフェースの基礎について理解する	2回生以上	後期		○			

3231012A2	アパレル工学	1. アパレル製品の設計・製造が工学的手法に基づいて行われていることを理解する。 2. 衣服材料が人体に適合した性質を備えている必要があることを理解する。 3. 衣服の製造および布の性能評価が、布の性質に適合した方法で行われるべきことを理解する。	2回生以上	前期		○		
3231013A2	生活界面化学	①コロイド・界面の性質、界面張力の測定方法の基本を理解する（知識・理解）。 ②ミセル、逆ミセル、エマルションなどの性質・構造について理解する（知識・理解）。 ③電気二重層の形成による界面静電的現象、電気浸透・電気泳動による界面動電的現象について理解する（知識・理解）。	2回生以上	後期		○		
3231014C2	衣環境学実験Ⅰ（物理）	1. 被服材料の性質・性能の評価法に対する理解（知識・理解）。 2. 実験・観察手法に対する習熟（汎用的技能）。 3. レポートの作成、データ整理のしかたおよび考察（汎用的技能）。	2回生以上	後期			○	
3231015C2	衣環境学実験Ⅱ（化学）	①化学実験を行う際の基本的な操作手順、注意点を理解する。（知識・理解） ②キレート滴定により水の硬度測定を行い、洗濯における水の役割について理解する。（汎用的技能） ③表面張力測定を行い、界面活性剤水溶液の性質・構造について理解する。（汎用的技能） ④化学染料を合成し、合成繊維・天然繊維の染色のメカニズムについての理解を深める。（汎用的技能） ⑤人工汚染布を作製し洗浄試験を行い、効率的な洗浄方法について考察する。（汎用的技能）	2回生以上	前期			○	
3231017D2	アパレルデザイン実習	1. 図形の描画とデザイン（汎用的技能）。 2. 運動の表現（汎用的技能）。 3. 作品制作とプレゼンテーション（汎用的技能）。	2回生以上	後期			○	
3231018D2	形態情報論実習	1. 図形の描画とデザイン（汎用的技能）。 2. 運動の表現（汎用的技能）。 3. 作品制作とプレゼンテーション（汎用的技能）。	2回生以上	後期			○	
3231019A2	衣環境造形学	①衣服の構造やその具体的な構成方法を学び、快適な衣環境のためには衣服の性能をどのように実現するかを科学的に理解する。 ②現代の衣服生産の新しいシステムを理解する。 ③衣服設計・製作の理論を理解することで、マーケティングや商品企画に求められる判断力を身につける。	2回生以上	前期		○		
3231020D2	衣環境造形学実習	①衣服原型を使ったデザインの展開を理解する。 ②衣服製作の基礎的理論と基礎的技法の関係を理解する。 ③市販のパターンを使って自分のサイズにグレーディングする方法を習得する。	2回生以上	後期			○	
3231021A3	高分子材料学	①繊維素材について基本的な構造を理解する（知識・理解）。 ②繊維の高次構造を測定する方法を理解する（知識・理解）。 ③繊維の構造変化を分子論的に理解する力をつける（知識・理解）。	3回生以上	後期		○		

3231022A3	繊維状材料性能論	①繊維の性質とマクロ構造について理解する(知識・理解)。 ②高強度・高弾性率繊維について理解する(知識・理解)。 ③天然繊維の機能加工について理解する(知識・理解)。 ④繊維高分子微細構造の測定法と性質・性能を理解する(知識・理解)。	3回生以上	前期					
3231023A3	生活材料物性学	1. 衣服の温熱的快適性に関わる物理現象を理解する。 2. テキスタイル材料の性能設計/評価に関わる考え方を理解する。	3回生以上	後期					
3231024A3	衣環境素材学	布(繊維集合体)は、繊維、空気、水分から成る複合材料である。繊維の性質と集合体構造により決定される布の性質が衣服材料としての要求性能を満たしていることを理解する。さらに、近年は衣環境の快適化や付加価値を高めるために、布に様々な改質や加工が行われていることを理解する。	3回生以上	後期					
3231025A3	洗浄科学	①洗浄の意義と目的、洗浄の歴史、汚れの定義などについて理解する(知識・理解)。 ②界面活性剤の種類と構造、その性質、ミセルの構造について理解する(知識・理解)。 ③汚れ除去のメカニズムについて理解する(知識・理解)。 ④洗剤ならびにドライクリーニング溶剤が環境に与える影響について考察する。 ⑤漂白と蛍光増白、被服の保管、被服の処分と再利用の現状について把握する。	3回生以上	前期					
3231026C3	衣環境学実験Ⅲ(物理)	1. 被服材料の性質・性能の評価法に対する理解(知識・理解)。 2. 実験・観察手法に対する習熟(汎用的技能)。 3. レポートの作成、データ整理のしかたおよび考察(汎用的技能)。	3回生以上	前期					
3231027C3	衣環境学実験Ⅳ(化学)	衣環境に関する実験の技法を習得するとともに、講義で得た知識をより深める。	3回生以上	前期					
3231028A3	生活感性工学	1. データの表現とまとめ方を理解する(知識・理解)。 2. 多変量解析の考え方を理解する(知識・理解)。 3. 解析手法とその応用を理解する(汎用的技能)。	3回生以上	前期					
3231030A3	デザイン情報論	1: 衣環境のデザイン手法について学ぶ。 2: 布がもたらす複雑な感覚がどのように認知されるかを学ぶ。	3回生以上	前期					
3231031D3	ウェアラブル情報デザイン実習	1: マイコンプログラミングの基礎を修得する。 2: ウェアラブルな情報処理で一般的に用いられるセンサからデータを取得する方法を理解する。 3: 2で取得したデータを例に、信号処理の考え方を実践的に学ぶ。 4: CGプログラムと組み合わせて、センサからの入力に応じてCGを変化させる方法について学ぶ。	3回生以上	後期					
3231032B3	論文講読演習	①学術論文の検索・取得法を習得する。 ②学術論文の読解力を養う。 ③衣環境分野の研究・開発について知る。	3回生以上	前期					

3231033A3	繊維材料化学	①合成高分子の合成と性質を理解する(知識・理解) ②天然高分子の生合成、化学合成を理解する(知識・理解) ③繊維の分解、ケミカルリサイクルを理解する(知識・理解) ④繊維の染色や加工について理解する(知識・理解)	3回生以上	前期		○		
3231034A2	テキスタイル保存化学	繊維素材および基礎化学を習得することで、テキスタイルにおこる現象について化学的に理解を深め、衣服を長期保存する為のテキスタイル保存に関する理解を深める。得られた知見を日常生活や社会に役立てられる応用力を習得する。	2回生以上	後期		○		
3231035B3	衣環境学演習 I	①最近の文献や資料を輪読し、内容について理解する。 ②学術論文の読み方や文献検索の仕方を習得する。 ③英文の総説および原著論文の読解力を養う。 ④卒業研究の意義・目的を深く理解し、その問題点について論議する。	3回生以上	後期集中				○
3231036B4	衣環境学演習 II	①最近の文献や資料を輪読し、内容について理解する。 ②学術論文の読み方や文献検索の仕方を習得する。 ③英文の総説および原著論文の読解力を養う。 ④卒業研究の意義・目的を深く理解し、その問題点について論議する。	4回生以上 (情報衣環境学科)	前期集中				○
3231037F4	卒業研究 I	学術的研究を遂行する過程で、専門的かつ実践的な研究能力を身につける。	4回生以上 (情報衣環境学科)	前期				○
3231038F4	卒業研究 II	学術的研究を遂行する過程で、専門的かつ実践的な研究能力を身につける。また、成果をまとめて、卒業研究として発表できるプレゼン能力を身につける。	4回生以上 (情報衣環境学科)	後期				○